

2013年8月27日

報道関係各位

ヤマハ株式会社
日本電気株式会社
日本マイクロソフト株式会社

**ヤマハ、ワークスタイル変革に向けてグローバル 1.2 万人を
対象に Office 365 を活用した情報基盤を導入**
～NECと日本マイクロソフトがシステム導入を支援～

ヤマハ株式会社（本社：静岡県浜松市、社長：中田卓也、以下 ヤマハ）は、ワークスタイル変革の一環として、日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、社長：樋口泰行、以下 日本マイクロソフト）のクラウドサービス Office 365 を活用したグローバル情報基盤（以下、本システム）を導入します。

本システムは、日本電気株式会社（本社：東京都港区、社長：遠藤信博、以下 NEC）が Office 365 の導入に加え、グローバルにおける 24 時間 365 日の多言語サポートなどを実施するものです。本年 12 月から稼働開始予定であり、ヤマハのグローバル 31 ヶ国約 1.2 万人の社員が利用する、大規模な Office 365 活用事例となります。

ヤマハでは、取引先を含めたタイムリーな情報共有やモバイル活用といった昨今のニーズへの対応や運用コストの削減のため、Lotus Notes を用いたこれまでの情報基盤の刷新を行う必要がありました。新しい情報基盤の選定にあたっては、複数のソリューションを検討した結果、企業利用における運用のし易さ、中国からの利用に実績がある、Office との親和性が高い、といった項目が検討され、その結果、Office 365 が選ばれました。

本システムの導入によりヤマハは、相手の状態に応じて電子メールやインスタントメッセージなど最適な手段によるコミュニケーション、海外の

社員や取引先などとの Web 会議や文書の安全な共有、移動中におけるスマートフォンからの各種機能の利用を実現します。これにより、ビジネスのスピードアップ、組織の壁を越えたビジネス連携の促進を目指します。

本システムの展開にあたりヤマハでは、自社製品である会議用マイクスピーカー「PJP シリーズ」を活用する事で、よりクリアな音声による遠隔会議を実現し、グローバルでコミュニケーションの円滑化を図っていく予定です。

近年、企業のグローバル展開が加速する中、現場から経営者層までが的確かつ迅速な意思決定、円滑かつ効率的なコミュニケーションを図る必要が高まっています。そのため、企業全体の業務プロセスやワークスタイルを変革すると共に、スマートデバイス、モバイル、クラウド、SNS、BYOD などの ICT を駆使した、信頼性・柔軟性の高いコミュニケーション・コラボレーション環境の整備と活用が必要不可欠です。

NEC と日本マイクロソフトは 2012 年 4 月から、大企業向けにクラウド事業での戦略協業の具体的な取り組みとして、「コミュニケーション・コラボレーションソリューション(注)」の共同開発及び拡販を行っており、このたびのヤマハへのシステム提供は、その成果の一つです。両社は今後も本ソリューションをクラウド型・SI 構築型など、幅広い形態で提供してまいります。

以上

注:コミュニケーション・コラボレーションソリューション

既に多くの実績がある NEC とマイクロソフトの製品・技術の組み合わせにより、大企業向けの信頼性・柔軟性の高い次世代のコミュニケーション・コラボレーション基盤を構築し、ワークスタイル変革を実現するソリューション。

<http://www.nec.co.jp/solution/mssolutions/>

<本件に関するお客様からのお問い合わせ先>

NEC SI・サービス市場開発本部
マイクロソフトソリューション推進グループ 石橋
TEL: (03) 3798-9188
E-Mail: contact@ms-sol.jp.nec.com

日本マイクロソフト
カスタマーインフォメーションセンター
TEL: (0120) 41-6755

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

ヤマハ 広報部広報グループ 渋谷
TEL: (03) 5488-6601

NEC コーポレートコミュニケーション部 山梨
TEL: (03) 3798-6511
E-Mail: r-yamanashi@ct.jp.nec.com

日本マイクロソフト
社長室 コーポレートコミュニケーション部 宮田
TEL: (03) 4535-8055 (部門代表)
E-Mail: mskkpr@microsoft.com